

アパマン:借りのよ情報配信中



借りのよドットコム <http://www.kariruyo.com>

賃貸マンションを探せ～総務課、人事課の日常業務

人事異動の季節は2月と10月と言われ日本全国のマンション、アパートを借りるために総務課、人事課の担当者が一斉にインターネット、雑誌、電話を駆使して動き始めます。入居する人の希望に沿って物件情報を集め、入居者に提供します。気に入れば賃貸物件を斡旋する宅地建物取引業者に連絡して現地案内をして頂きます。数件を見て回り契約条件を確認してから入居契約となります。一人の住居を探すために費やす時間は数時間から十数時間となります。人数が多いときは他の仕事が出来ずに机の上は書類の山とまります。毎日の仕事であれば工夫も出来ますが、移動や募集のときだけに集中するために悩みは尽きません。

会社に優しく、個人に厳しい～会社には弱い賃貸斡旋会社

個人でマンションやアパートを探すために賃貸情報をインターネットで調べます。そして、賃貸斡旋会社(賃貸会社)を訪問して希望する条件で探します。接客時の対応は会社関係にはとても丁寧ですが、個人となると非常に厳しいように感じます。一度でも経験すると会社の総務課にお願いするケースが増えています。

賃貸物件はどれだけあるの?

賃貸物件をインターネットで調査した2006年全国賃貸物件登録状況(2006.、ゴールドウィーク調べ)によると市場規模は265万件だ。賃料は4～15万円、平均2年半から4年と推測される。賃貸会社の斡旋手数料収入を推測すると1600億円。

広告が唯一の告知手段～受け身は辛い

賃貸物件があることを入居予定者やその予備軍に知らせる方法は広告となる。賃貸会社へ引き寄せるためにはテレビ、新聞、チラシ、インターネットなどの広告、店舗は駅前が多くなる。広告は不特定多数を対象とするので待ちのビジネスとして辛い面もある。効率の良いお客獲得手段はないものか。

探してる人の情報が欲しい!

どこにいるか、誰が探しているか、というのでは広告費などで経費が増えるばかりだ。欲しいのは契約手数料であり、そのために様々な努力をしているのだ。なぜ、そのような情報を提供できないのだろうか。

こんな要求から生まれたのが「借りのよ情報 ドット混む」だ。マンション、アパートを借りたい人の情報を定期的に賃貸会社へ情報を送る。賃貸会社では受け取った情報に合う条件の物件を探して提案する。このことで契約率は大幅に増えるので効率の良いビジネスの誕生となる。

「借りのよ情報 どっと 混む」は近日オープン

賃貸会社が待ちに待ったマッチングシステムの誕生となります。借りたい人と貸したい人の双方が満足する、そして、総務課の仕事量が減ることで関係者全員の笑顔が見える日が近いことでしょう。

お問い合わせ 昭和企画 0587(36)3271